



地域ぐるみの学校防災体制の構築に向けて

今年度から2年間、下記の4校を実践研究協力校として指定し、地域ぐるみの新たな学校防災体制の構築に係る取組を推進していきます。

【実践研究協力校】

- 富谷市立富ヶ丘小学校
- 大崎市立古川南中学校
- 松島高等学校
- 金成支援学校

《実践内容》

- 1 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直し及び避難訓練の実施
- 2 地域と連携した災害特性を共有するワークショップ等の実施
- 3 教職員の災害対応力を養成する校内研修の実施
- 4 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実践



実践研究協力校の取組成果については、令和6年1月開催予定の「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」や各種研修会、本通信でお知らせしていきます。

避難訓練訪問記録

5月1日に利府支援学校富谷校で、富谷市立富ヶ丘小学校との合同避難訓練（地震発生を想定）が行われました。

緊急地震速報が流れると、先生方は児童一人一人に親身に寄り添いながら、近くにある物で児童の頭部をしっかりと守っていました。

また、避難経路の安全確認も確実に行われ、富ヶ丘小学校と速やかな情報共有ができていました。

校庭に避難した際には、児童が不安にならないよう、安心できるような声掛けを行い、人員確認も確実に行って行っていました。

富谷校では、地震等が発生した際、すぐに避難する必要がある場合に備え、“おんぶ紐”で誰もが児童をおんぶできるように研修を行っています。児童の命を守るため、事前研修をしっかりと行い、先生方同士の連携がとれた避難訓練でした。



<防災や普段の生活に役立つ気象情報>

これから本格的な雨のシーズンを迎えるにあたり、気象庁では大雨による危険度の分布を地図上に描画する「キキクル」という情報を提供しています。

市町村範囲で発表される警報や土砂災害警戒情報等だけでは伝えきれない、より具体的な危険エリアを視覚的に把握するのに有効なツールとなっていますので、ぜひ御活用ください。

【宮城県の「キキクル」】

https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level&area_type=offices&area_code=040000

